

件名	1号機における一時的な出力変動について
通報日	平成17年1月7日
概要	<p>当所1号機（沸騰水型、定格電気出力 110 万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、1月6日午後5時8分頃、一時的に電気出力が約 112.5 万キロワットから約 114.5 万キロワットへ変動しました。</p> <p>出力変動の原因は、タービンの回転数をコントロールする制御装置の一部が故障<sup>注</sup>し、その計画的な復旧作業（故障した電子基板の取り替え）にともない、タービンへの流入蒸気量を制御する弁の開度が一時的に変化したものです。</p> <p>なお、現在、当該制御装置は通常に復帰しております。</p> <p>注 当該制御装置は3重化されているため、その一部（1回線）の電子基板の故障ではプラントの運転に支障はありません。</p> <p>（平成17年1月7日 プレス発表内容）</p> <p><a href="http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/17010701.pdf">http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/17010701.pdf</a></p>